

第2回公共施設の地域別あり方検討会（ワークショップ以外）での参加者発言要旨

○第2グループ：中北部・中部・中南部ブロック（本市説明後の発言 H27.10.31 14:00～）

- ・大津市では自治会が中心となってまちをつくり上げてきた。
- ・行政と地域は、大津百町など両輪で進めてきた歴史がある。数字ではなく、歴史を踏まえて考えていくべきである。
- ・数字ばかりが先行し、これまでまちづくりを進めてきた諸先輩方に対する敬意が足りない。
- ・幼稚園について触れられているが、先日、京都新聞に幼稚園の数を減らす記事が載っていた。既に決まっているのではないか。
- ・消防分団詰所やすこやか相談所の集約化などが書かれているが、どれも地域に必要な施設である。
- ・大津幼稚園に関し、存続や2年保育を3年保育にすることを要望した際、市長は顔を横に向けて目も合わされなかった。
- ・公民館の登録団体の減免の話もいきなり出てきたため、大変困惑している。
- ・既に筋道は出来上がっているのではないか、市民を形式的な形のために参加させるべきでない。市民の声を聞く場を、先に設けるべきである。
- ・周知啓発が足りていない。
- ・ニーズが変わるのに30年後のことをどう考えるのか。
- ・これは国からの指示で行っているものなのか、大津市は南北に長い地形で国の一律の考えで出来るものではない。そうした地理的条件を有効に活用して考えてほしい。
- ・今後、私もしっかりと考えていきたいので、出席している。
- ・こうした内容が市民に周知されていない、行政からの啓発が足りない。
- ・この検討会の議論が、今後の取組にどのようにつながっていくのか。
- ・20年、30年先のアリバイ作りのために参加したくない。
- ・平成26年にも検討を行っているようだが、先に市の考え（案）を示すべきである。
- ・市の職員は、行政のプロであり、市が考え、市議会と話し合い決めたいうえで、それを地域住民に説明していけばよいのではないか。
- ・市民センターの数値目標が3.8%の減とあるが、3.8%だと1～2施設を減らすことになるが、そのために市民を集めたのか。
- ・忙しい中、わざわざ出席している。
- ・我々がここで何をするのかわからない。この場で発言したことに責任を持ってと言われても困る。

○第3グループ：南部・東部ブロック（検討会終了時 H27.11.7 14:00～）

- ・我々の意見ばかりを聞くのではなく、行政の意見を示すべき。我々の立場上、公共施設を統廃合することは考えていない。
- ・市の方で具体案を示し、それに対して我々が意見を言う形で進めるべき。